

校 訓

質実剛健 自他敬愛

本校の教育目標

- 1 学力の向上
生涯にわたって学び続けるための基礎となる、学ぶ姿勢と確実な学力を身に付けさせる。
- 2 心身の健康の増進と人格の陶冶
社会の様々な場面で活躍できるよう、健全な心身の育成と、切磋琢磨による人格の陶冶を目指す。
- 3 人間理解の推進
自己理解を基礎に自己の可能性を発見させ、自分と他者との関係についての理解を深めさせ、自他の違いを認識し共生していく社会性の育成を図る。

生徒の実態、教師の願い

素直で純朴であり、部活動には積極的に取り組む。なお一層、自主自律の精神を向上させることが課題となっている。

保護者や地域の願い

地域の文武両道の実践校としての期待が高い。
保護者からは、①進学校、②学習と部活動との両立、③明るく元気な学校生活の3点が求められている。

「志教育」の目標

- 1 豊かな人間性を身に付け、集団や組織の中でよりよい人間関係を築く力や社会性を養う。
- 2 自己理解を深め、自らの在り方生き方について主体的に探究する。
- 3 集団や組織の中で自分の果たすべき役割を認識し、地域や社会の発展に貢献する態度を身に付ける。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
ホームルーム活動や生徒会活動等を通して、他者を思いやる豊かな人間性を養うとともに、自他の考えを適切に伝えたり理解したりする力を伸ばし、望ましい人間関係を築くことができるようにする。	学習や生活に関する調査結果等を活用して自己の理解・分析を深めるとともに、「大学出張講義」等を通して、知的好奇心を高め、自己の在り方生き方や進路実現のための具体的な方策について考えさせる。	生徒会活動や各種ボランティア活動への取組を通して、集団や組織の中での自己の役割を積極的に果たし、将来の社会人としての自覚を持たせる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	生涯にわたって主体的に学び続けるための基礎となる学ぶ姿勢と確実な学力を身に付けさせるとともに、地域や社会の発展に貢献しようとする態度を養う。
道徳	教育活動全体を通して、自主自律の精神を養い、健全な精神と互いに切磋琢磨する姿勢を身に付けさせるとともに、社会の中で自己や他者を深く理解する力を伸ばし、地域や社会の発展に貢献できる人材の育成を目指す。
学習の時間	「地域探究活動」「課題研究」等を通して、生徒の知的好奇心を高め、かつ生徒が主体的に取り組むことができるような活動を多く取り入れ、自己の在り方生き方や進路について考察させる。
特別活動	ホームルーム活動、生徒会活動を中心として、心身の調和のとれた発達や個性の伸長を図り、集団や社会の一員として、よりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、様々な集団の中で、自己を生かす能力を養う。
その他	部活動など集団活動を通して心身を鍛え、よりよい人間関係を築くことを学び、近隣小中学校と連携した「朝のあいさつ運動」を通して進んであいさつルールを遵守する生徒を育成するとともに、各種ボランティア活動や米国の姉妹校との国際交流活動を通して、他者や他国を尊重し地域や国際社会の平和と発展に寄与できる人材の育成を目指す。

各学年の取組内容	
1年	<ol style="list-style-type: none"> ① 校内オリエンテーション 学習習慣の確立、高校生活の抱負、卒業後の進路 ② 進路オリエンテーション 「進路の手引」の活用、進路スケジュールの説明 ③ 科目選択ガイダンス ④ 大学見学会 ⑤ 進路講演会 ⑥ オープンキャンパスへの参加 ⑦ 思春期講演会 ⑧ 地域探究活動 ⑨ 「大学出張講義」 ⑩ 合格体験談を聴く ⑪ ボランティア活動の実践 ⑫ 二者面談・三者面談による進路目標の明確化 ⑬ 国際理解活動
2年	<ol style="list-style-type: none"> ① 進路オリエンテーション 「進路の手引」の活用、進路スケジュールの説明 ② 科目選択ガイダンス ③ 進路講演会 ④ オープンキャンパスへの参加 ⑤ 職場訪問 ⑥ 「大学出張講義」 ⑦ 進路別ガイダンス ⑧ 小論文トレーニング ⑨ 課題研究 ⑩ 合格体験談を聴く ⑪ ボランティア活動の実践 ⑫ 二者面談・三者面談による進路実現のための方策の具体化
3年	<ol style="list-style-type: none"> ① 進路オリエンテーション 「進路の手引」の活用、進路スケジュールの説明 ② 進路別ガイダンス・進路別ゼミ ③ 進路保護者説明会 ④ 二者面談・三者面談による進路希望の確認 ⑤ 面接指導・模擬面接 ⑥ 小論文・作文指導 ⑦ 進路希望先の事前見学 ⑧ 最終進路希望先の提出と試験対策 ⑨ 校内美化活動 ⑩ ボランティア活動の実践

家庭との連携

P T A活動や学校行事、さらには学校評価、授業公開等の機会を通して、情報交換を図り、地域のみならず日本や世界で活躍できる人材の育成に努める。

地域・企業との協働

地域社会や関係機関等と連携しながら、生徒が校外に出て話を聞いたり、ボランティア活動等に取り組みさせる体制作りを行う。